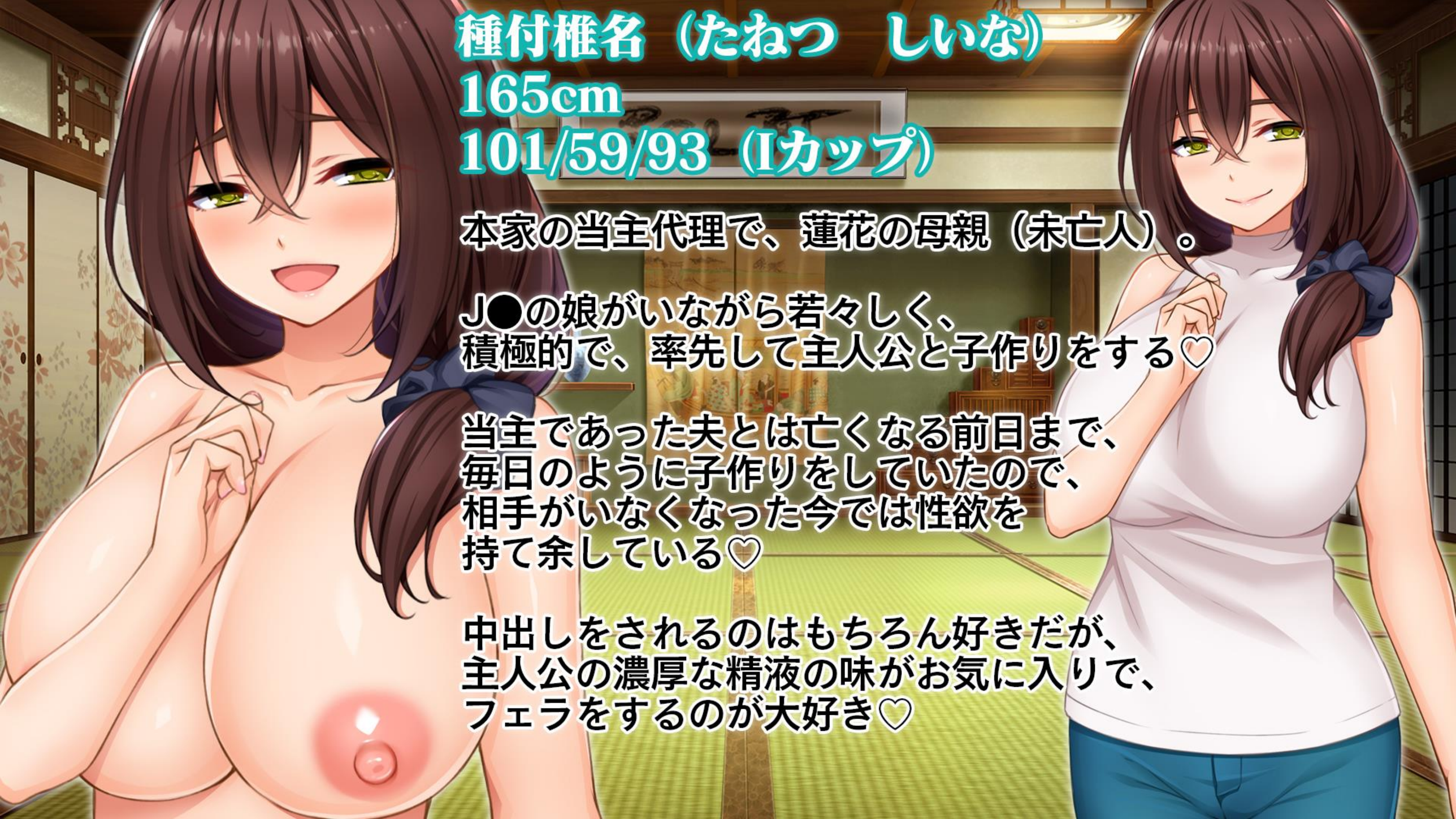
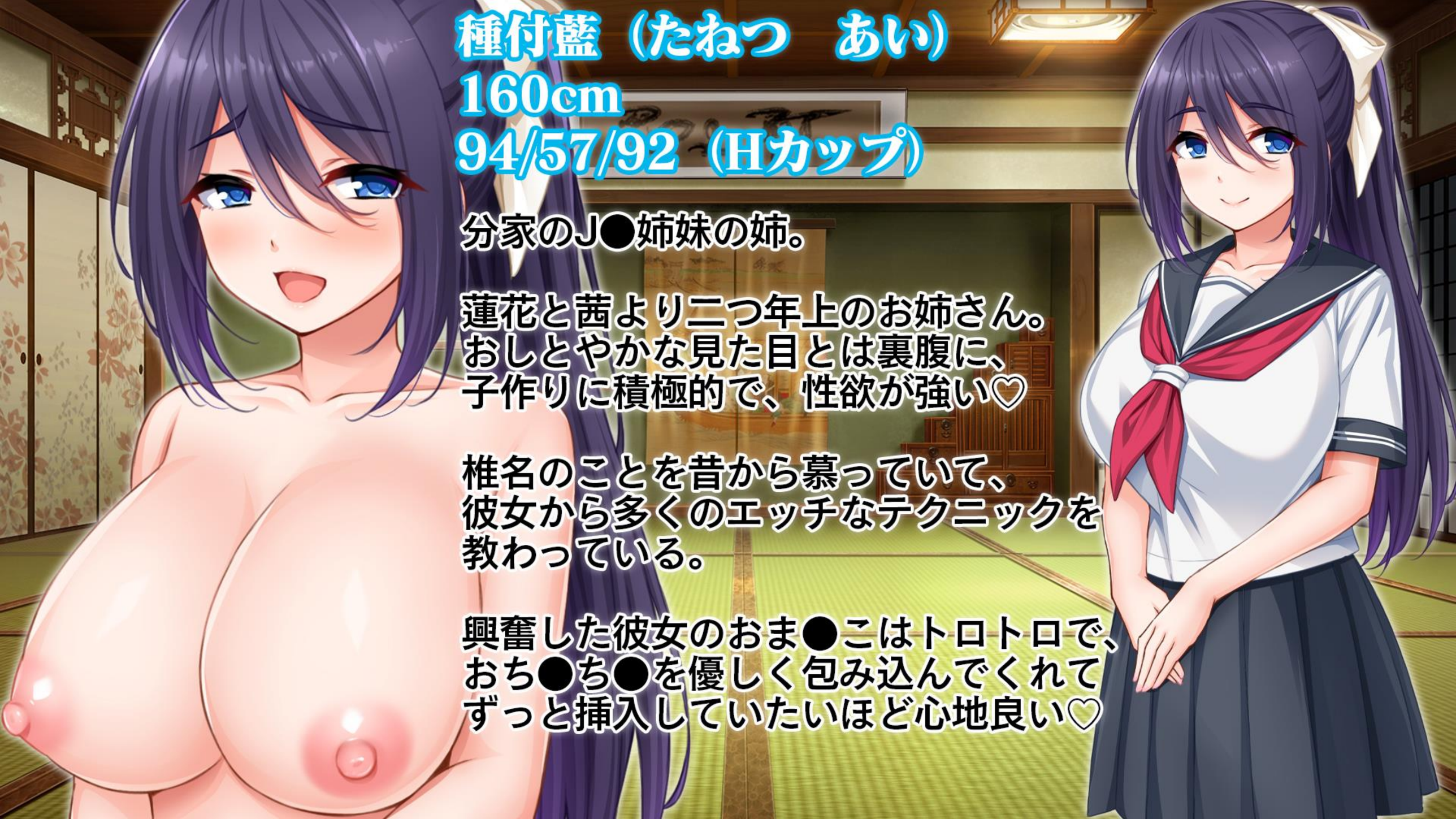
種付家の一族
～過疎村の淫習で俺の子種で孕みたい女たちは喜んで股を開く～
STUDIO 山ロマン PRODUCTS
成人向けCG集
基本CG11枚本編枚数260枚

種付蓮花（たねつ　れんか）
157cm
91/57/89（Hカップ）
本家の一人娘のJ●。
一族の風習に否定的で、
当初は子作りを拒絶するものの、
感度は四人の中で最も高い♡
エッチなことに興味がないわけではなく、
よく両親の子作りをこっそり覗き見して、
オナニーをしていた。
感じやすく、中出しをされるまでに
何度もイってしまうものの、
彼女のおま●こは中出しをされるまで
おち●ち●を放さない♡


種付椎名（たねつ　しいな）
165cm
101/59/93（Iカップ）
本家の当主代理で、蓮花の母親（未亡人）。
J●の娘がいながら若々しく、
積極的で、率先して主人公と子作りをする♡
当主であった夫とは亡くなる前日まで、
毎日のように子作りをしていたので、
相手がいなくなった今では性欲を
持て余している♡
中出しをされるのはもちろん好きだが、
主人公の濃厚な精液の味がお気に入りで、
フェラをするのが大好き♡

種付茜（たねつ　あかね）
159cm
90/55/86（Gカップ）
分家のJ●姉妹の妹。
身体を動かすのが好きで
いろんなスポーツをしている。
性知識は乏しいものの、実は性欲は強い♡
最初は緊張しながら子作りを始めるが、
おち●ち●でおま●こを突かれる
快感を知って、すっかり子作りが好きになる。
運動をしているためか、
おま●この締め付けは他の三人よりも強く、
一滴残らず子種を搾り取ろうとする
強力おま●こ♡


種付藍（たねつ　あい）
160cm
94/57/92（Hカップ）
分家のJ●姉妹の姉。
蓮花と茜より二つ年上のお姉さん。
おしとやかな見た目とは裏腹に、
子作りに積極的で、性欲が強い♡
椎名のことを昔から慕っていて、
彼女から多くのエッチなテクニックを
教わっている。
興奮した彼女のおま●こはトロトロで、
おち●ち●を優しく包み込んでくれて
ずっと挿入していたいほど心地良い♡

あん♡
はぁ♡
んぁ♡
ぐぎ
じゅぽ♥
ぎゅぷ

こんなに感じちゃうの初めてっ

おち●ち●…すごい…奥までしっかり届いて…っ！

じゅぽ♥

ギュプッ

じゅぶ！

ふ、ふふ…これで出されたら…一発で孕んじゃうかも…

俺の身体の上で腰を振って乱れる美女がいる。

そして―

ギュプッ

ザチュ ザチュ

これが子作りなんだ…

すごい激しい…
椎名さんがこんなに乱れて…

……

ぬちゅッ

ぬちゅッ

ぬちゅッ

周りには三人の可愛いJ●がいる。

二人は興味津々といった視線を
一人は頬を赤くしながらも冷ややかな視線を
こちらに向けていた。

そう言って射精へと導こうと
さらに腰を振る速度を速める。
はぁはぁ
みんな…私のセックス
しっかり見ておいてね
次はみんなが…するんだからっ
はぁ
はぁ
じゅぽ♥

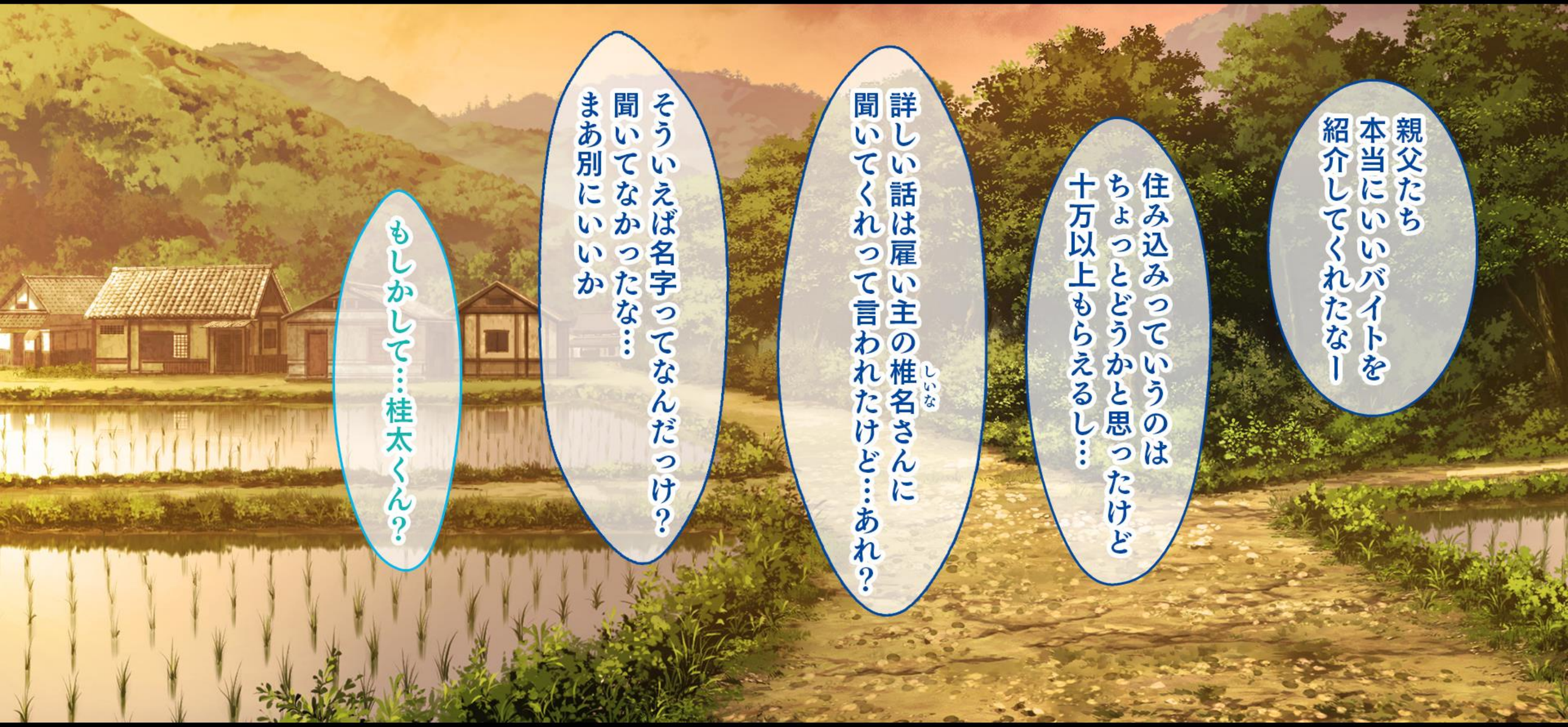
まさか…
こんなことになるなんて…
一時間ほど前までの俺は
J●に囲まれながら
セックスをするとは
微塵も思わなかった。

一時間ほど前―

ここか…
想像以上に田舎だな…
街灯もほとんどないし
暗くなる前に着いてよかった
電車を何度も乗り換えて、
何時間もかけてようやく到着した村。
古い家が立ち並んでいて
車が走っている様子もない。

大学の夏の長期休暇に
俺はこの村の親戚のもとで
住み込みのバイトをすることになった。

大学が休みの間にがっつり稼ごうと
バイトを探していたところ、両親から
親戚が住み込みで働ける人を
募集していると教えてくれたのだ。


親父たち
本当にいいバイトを
紹介してくれたなー
住み込みっていうのは
ちょっとどうかと思ったけど
十万以上もらえるし…
詳しい話は雇い主の椎名さんに
聞いてくれって言われたけど…あれ？
そういえば名字ってなんだっけ？
聞いてなかったな…
まあ別にいいか
もしかして…桂太くん？

あ、はい…
もしかして椎名さんですか？
ええ、初めまして椎名です
こ、こちらこそっ
草野桂太（くさのけいた）ですっ
じぃっ
びっくりした…
女の人とは聞いてたけど
まさかこんな美人だなんて…
確か旦那さんを
数ヵ月前に亡くしてて…
J●の娘がいるんだよな
子供がいるようには
とても見えないな…

ここまで来るの
大変だったでしょう？
さあ中へどうぞ
みんな待ってるから
は、はい…ん？
みんな…？

まず俺が寝泊まりする部屋に
案内してもらって自分の荷物を置くと、
「みんなを紹介するわ」と
別の部屋へと連れて行かれる。

この家に住む家族の方を紹介されるのか、
それとも自分以外のバイトがいるため
その人たちを紹介してもらえるのかと
思ったがそうではなかった。

みんな
桂太くんが来たわよ

えっ？
ドキ
部屋の中にはJ●と思われる
三人の女の子がいた。
しかもどの女の子もすごく可愛い。

え、えっと…
この子たちは？
もしかして…娘さんですか？

え？
一人はそうだけど…
二人は分家の子よ
分家？
…もしかして桂太くん
何も聞いてない？
詳しいことは椎名さんに
聞くようにと父から…

そうなの…
それじゃあ説明してあげる
でも、その前に彼女たちの
紹介からするわね

まずは私の娘の蓮花(れんか)ちゃん
よ、よろしく…
……
こら蓮花ちゃん！
ちゃんと挨拶しなさい！

フンッ
…蓮花です
よろしくお願いします
もうっ
ごめんなさい無愛想な娘で
い、いえいえ…
いくら親戚とはいっても
俺も今回のことで初めて
知ったほど遠い親戚だ
それも男…
年頃の女の子としてはあんまり
気持ちの良いものじゃないだろう

それからこの二人は
藍ちゃんと茜ちゃん
この村に住んでいる
分家の姉妹よ

初めまして
姉の藍と申します
い、妹の茜です！
その…よろしくお願いします！
あ、うん
よろしく…

二人は椎名さんの娘さんと違って
俺のことを悪く思ってないようだ
ただどうして分家の子が？
親戚の俺が来たから
わざわざ挨拶に来てくれたのか？

ふふっ
全員名字が同じだから
私たちのことは名前で呼んでね
それでお仕事の
内容なんだけど…
桂太くんには私たちを
孕ませてほしいの
……はい？

すみません…
ちょっと聞き取れなかったので
もう一度言ってもらえますか？
ええ
桂太くんには私たちを
孕ませてほしいの
は、孕ませっ!?
聞き違いじゃなかった!!

桂太くんは私たち
種付家(たねつ)がどういった一族か
知らないみたいだし…
驚くのも無理もないわね
種付け!?
ビクッ!

〝たねつ〟よ
まあやってもらうことは
間違ってないけど…
それから椎名さんから
種付家のことを教えてもらった。
種付家は代々この村を繁栄させてきた
一族で、村の守り神のような存在らしい。
自分たちの血を大切にしていて
近親者で結婚をして子を作り、
自分たちの血を守ってきたそうだ。

だが、近親者で子を作ってきた弊害か、
種付家は子ができにくい体質になっていた。
そして数ヵ月前に一族の当主であり、
本家で唯一の男性だった椎名さんの
旦那さんが亡くなってしまった。
椎名さんが今は当主をしているが、
あくまでそれは代理。
代々当主は基本的に本家の男性が
継ぐことになっている。
子ができにくい体質の種付家は、
一族を継ぐ本家の男性が
いなくなった時に行うある風習があった。
それは血族から若く精力が強い男性と、
一族の血が濃く子を産める女性を集めて、
孕むまで子作りを行うというもの。

この村の分家に
男の人は何人かいるんだけど…
あいにく高齢で
子作りできそうな人は
いなかったの
それで遠縁でも種付家の血が
流れる男の人がいないか
探したら…桂太くんを見つけたの

あなたのお父さんとお母さんは
この村の出身ではないけど、
お二人のご両親が村の出身でね
小さい頃には何度か
この村に遊びに来ていたそうよ
事情を話したら
この村のためになるなら
喜んで息子をって…
そう言ってたんだけど…
何も聞いてなかったのね

はい…
はぁ…
親父たち知ってたならちゃんと教えてくれよ…
女を孕ませろ、なんてこと息子に言いにくいのもわかるけど…

…でも、桂太くんがやる気なようで良かった
え…あっ！
ムラムラ
四人の女性とセックスをする…
ついそのことを想像してしまい、
ズボン越しでもわかるほど勃起していた。

……
……
……
三人のJ●の視線が勃起したチ●ポへと向けられているのがわかる。
その視線にますます血が集まっていく。
ギンギン

それじゃあ…
まずは経験者の私としましょうか
えっ
椎名さんは一切躊躇うことなく
俺のズボンを下着ごと下ろしてきた。
すっ…

すごい…

し、椎名さん!?
ふふ…すごい立派ね
私の夫よりも大きいかも
ぎゅっ

あれが男の人の…
は、初めて見た…

教科書で見るよりも
なんというか迫力がありますね

……

それぞれ考えていることは異なるようだが、
三人のJ●たちの視線が椎名さんに
握られたチ●ポへと注がれる。

あ、大きくなった…
待ちきれないの？

いろいろ

大丈夫
今から気持ち良くしてあげるから

手だけじゃなくて…
舌も使ってね

うあぁ…

夫とは亡くなる前日まで
ずっと子作りをしてたの

れろぉ

しこしこ

んちゅ

だから蓮花たちと比べたら
オバサンだけど…経験は豊富よ

桂太くんを
満足させられると思うわ

そう言いながら優しく竿をシゴいて
ザラザラとした舌で亀頭を刺激する。
その刺激にたまらず
チ●ポがますます大きくなり、
我慢汁が溢れ出てしまう。
お汁が出てきた…
まるで精液のように
味も匂いも濃いわ
もしかして…
最近シてないの？
んちゅ
レロレロ
しこしこ

その…ちょっと前に
彼女と別れて…ご無沙汰で…
オナニーも？
長期休暇に入るまで
試験勉強で忙しくて…
ちゅぱ
優しく尋ねてくる椎名さんに、
素直に答えてしまう。
近くでJ●に聞かれているというのに…。

それじゃあ久し振りの射精なのね
だったらもっと気持ち良くさせてあげる
ちゅぱ
ちゅぱ
くちゅ
ニュル
ニュル
ニュル
ニュル

うあぁ…っ！
ろう…？
きもひ、いいれしょ？
いつれも…だひて、いいはらね？
くちゅ
しこしこ
ちゅぷぷ
くちゅ

うわわ…
おち●ち●食べちゃった…

どんな味がするんでしょう…

ちゅちゅっ

くちゅ

しこしこ

んちゅ

……っぅ！

椎名さんがチ●ポを咥えたことに
三人から驚きの声が漏れた。

こ、こんなのJ●に見せていいのか？
特に蓮花ちゃんは椎名さんの娘なのに…あぁっ！
ぬちゃ
ぬちゃ
んちゅ
んちゅ
ちゅる
ちゅる
ちゅる
くちゃ
くちゃ
このまま続けていいのかという不安はすぐに椎名さんのフェラの快感で吹き飛んでしまう。
それにもうすぐそこまで精液が昇って来ていて射精は止められそうにない。

でぇそう？
えんりょ…
ひなくて、いいから…
わたひの口ま●こに…
ひっぱい…らしてぇ…♡
椎名さん…うっ！
んちゅ
ちゅぱ
ちゅぱ
んちゅ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ

ドピュッ
んんんんーっ♡

ふう
んぐ…すごひ…
におひも…あじも…りょうも…
椎名さん…
んんっ♡
んちゅ
ちゅる、ちゅる、
椎名さんは口の中の精液を
ゆっくりと飲み込んでいった。
それも尿道に残っている精液までも
一滴残らず吸い出してくれている。

んんっ
こんらのぉ…
あじわっひゃうと…
もう…がまん、でひない…
ふう
はぁ
椎名さんは精液を飲み干すと、
チ●ポから口を離して立ち上がった。

本当は蓮花ちゃんたちにおち●ち●のこととか…
丁寧に教えるつもりだったんだけど…ちょっと駄目みたい
はぁ
はぁ
もう…今すぐ…桂太くんと子作りしたい

直後、椎名さんは俺を押し倒すと、
着ているものを脱ぎだして、
俺の上にまたがった。

この続きは、本編でお楽しみください！！
桂太くんのおち●ち●
あまりにも立派だから
濡れちゃった…
ほら、わかる？
私のおま●こが
濡れてるの？
は、はい…
くちゅ
すりすり